

校長の想い10月

校歌を歌えるように

いくつかの台風が通り過ぎると、季節はすっかり秋になりました。
気温の変化で、風邪などを召さないように気をつけてください。

さて、本校では9月に2学年の生徒が広島・大阪方面に修学旅行へ行き、無事に戻ってくることができました。とても嬉しいことです。

今年度に入り、4月に3年生が長崎方面に修学旅行へ行き、無事に終了しましたので、2つの学年が事故やコロナ感染等がなく有意義な行事ができました。

いずれも、生徒たちが感染対策に十分努めたことが大きかったと思います。

コロナの影響も一時期から比べると、和らいでいるようですが、感染者が出ると濃厚接触者の特定や本人の隔離等、まだまだ油断できない状況であります。

そのような中で、修学旅行は無事に終わって良かったですが、2学期は行事がたくさんあります。

10月は、村民大運動会と文化祭（黒潮祭）、11月には総合防災訓練、そして3年生は大学への総合型選抜試験があり、コロナに感染できない状況が続きます。

私は、コロナの影響の中で一番辛いのが、感染拡大防止の観点から行事等で校歌が歌えないことです。

校歌には不思議な力があって、生徒と教職員が一致団結して頑張ろうとする気持ちを盛り上げてくれます。

本校では、毎月初めに行う全校朝礼や卒業式、入学式等では必ず校歌を歌っていました。

何とか今年いっぱいコロナも治まって、普通の日常を取り戻すとともに、校歌を大声で歌えるようになって欲しいと思っています。

これが10月の私の想いです。